

児童朝会 講話 ■令和4年10月24日

No.17 「カナ文字 8」

校長先生の言葉は皆さんの心に届いていますか？先週のオリエンテーリング、楽しかったですか。班で最後まで活動できてのは、とてもすばらしかったです。また行きかえりの電車も、みなさん行儀良くして、とてもよかったですね。

さて、前回のお題、「アナグラム」をつくらうは少し難しかったようで、なかなかうまくつくれている人は少なかったです。

前回、今の小学生は「50音」でひらがなを覚えませんが、明治時代までは「いろは歌」で覚えるというお話をしました。では、なぜいろは「歌」というのでしょうか。ちなみに、50音は機能的ではありますが、意味はまったくありません。

いろは「歌」はその名前のとおり、歌なので意味もちゃんとあります。では、いったい「いろは歌」にはどんな意味があるのでしょうか？少しまわりの人と聞き合ってみてください。

いろ、ちり、おくやま、こえて、ゆめ…

よく見ると、わかる文字もありますね。

では、少しずつ読んでいきましょう。

いろはにほへと ちりぬるを

漢字：色は匂へど 散りぬるを

意識：さくらの花はさきほこっても、

いつかはちってしまうように

わかよたれそ つねならむ

漢字：我が世誰ぞ 常ならむ

意識：えいえんに、このよに

生きつづけられることはできません。

うゑのおくやま けふこえて

漢文：有為の奥山 今日越えて

意識：くるしく、なやみおおい

じんせいをきょうのりこえて

あさきゆめみし ゑいもせず

漢字：浅き夢見じ 酔ひもせず

意識：はかないゆめからさめて

さとのせかいにたどりつきました

いろは歌は、意味もありますが、50音の練習で使うということは、あ→んのひらがなを1回ずつ使って文章がつけられているのです。本当でしょうか？また、実は1文字だけ使われていない文字があります。何という文字でしょうか？少し周りの人と相談してみてください。

校長先生と一緒に確認していきましょう。

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	り	る	み	ひ	に	ち	し	き	い
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	れ	ゑ	め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

ゑ	あ	け	う	つ	わ	ち	い
ひ	さ	ふ	ゐ	ね	か	り	ろ
も	き	こ	の	なら	よ	ぬ	は
せ	ゆ	え	お	む	た	る	に
す	め	て	く	や	れ	を	ほ
	み		や	ま	そ		へ
	し						と

確かに、すべてのカナ文字が使われていました。そして「ん」が使われていないこともわかりました。

では、今週のお題です。いろは歌にはなぜ「ん」が使われていないのでしょうか？

こうかなあと思った人は、どんどん校長室前のボードに書き込んでください。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。